



ツール・ド・九州で団体優勝！ 大成功を収めた初回大会

10月6日の小倉城クリテリウム（エキシビション）を皮切りに福岡県、熊本県、大分県を駆け巡った今年初開催の「[マイナビツール・ド・九州 2023 \(UCI2.1\)](#)」。第2ステージは、阿蘇での厳しい山岳コースに加え、悪天候。非常にハードなレースになりましたが、EF エデュケーション・NIPPO ディベロップメントチームの若手エース、留目夕陽が区間3位に入る素晴らしい走りを見せ、NIPPO がスポンサーを務める新人賞ジャージを獲得しました。惜しくも留目は翌第3ステージで落車リタイヤとなりますが、残ったメンバーは最後まで諦めることなくベストを尽くし、チームとしての今季最終戦で、見事に団体総合優勝に輝きました。

そして今週末、10月14、15日には栃木県宇都宮市にて「ジャパンカップサイクルロードレース」が開催されます。昨年の優勝チームであるEF エデュケーション・イージーポスの参戦に加え、育成チームの門田祐輔、織田聖、橋川丈は日本ナショナルチームのメンバーとして出場します。応援よろしくお願いします！



あいにくの悪天候に見舞われた第2ステージは阿蘇のやまなみハイウェイや外輪山を舞台にしたダイナミックなコースでした。



九州初の大規模な国際レースでしたが、沿道には大勢の観客が！



DEVELOPMENT TEAM

UCI ワールドチーム直下、若手中心の育成チーム。2023 シーズンは6名の日本人選手が所属。



雨の第2ステージで先頭集団でレースを進める留目夕陽。UCI ワールドチームの2選手に先行を許すも、これまでのUCI レースにおける自身最高位となる区間3位でフィニッシュ。世界レベルの確かな成長をアピールし、今後への期待が高まる結果に。



第2ステージを終え、新人賞ジャージを獲得した留目夕陽。NIPPO 藤野九州支店長がプレゼンターを務めました。



各ステージ上位3選手のタイムの合計で競われる団体成績で首位に立ち表彰台へ。副賞は大分県日田市の名産「日田けた」。

MORE INFO > <https://teamnippo.jp>